

第 73 回塑性加工連合講演会講演募集

開催日：2022年11月18日(金)～19日(土)
 会場：トークネットホール仙台【〒980-0823 仙台市青葉区桜ヶ岡公園 4-1】またはオンライン開催
 テーマセッション講演申込締切：2022年7月12日(火)
 一般講演申込締切：2022年7月19日(火)
 講演論文集原稿締切：2022年9月14日(水) 14時まで

共催：軽金属学会, 精密工学会, 日本金属学会, 日本機械学会, 日本材料学会, 日本鉄鋼協会, 日本銅学会, 日本塑性加工学会 (幹事学会)
 協賛：高分子学会, 日本トライボロジー学会, 日本複合材料学会, 日本レオロジー学会, プラスチック成形加工学会, 溶接学会, 型技術協会, 日本合成樹脂技術協会, 粉体粉末冶金協会, 日本鍛圧機械工業会
 後援：日刊工業新聞社

●講演申込方法

学会のホームページ (<http://www.jstp.or.jp>) の【講演申込みのページ】より申し込んでください。

- 講演申込には、会員番号・パスワードが必要です。
 - 会員番号・パスワード発行までにお時間がかかりますので、入会申込みは7月1日(金)までをお願いします。また、共催学協会会員には今回限り有効な会員番号とパスワードを発行します。
- ホームページでの申込みが困難な方は、学会事務局まで電話(03-3435-8301)でお問合せください。

●講演申込上の注意

- 未発表かつオリジナルな内容に限ります。
- 講演者は講演申込時に共催学協会の個人会員に限ります。連名者の資格はその限りではなく、連名者数(除く講演者)は6名までとします。
- 講演申込締切後の講演取消はできません。また、講演申込締切後の題目、講演者、連名者の変更はできません。
- 講演論文集の原稿の著作権は日本塑性加工学会に譲渡していただきます。なお、著作者自身による原稿利用の権利は留保いたします。
- 講演分類は右記の表より1つずつ選んだ組合せで表示します。
- 講演申込み後、受付確認メールを返信します。1時間以内に受付確認メールが届かない場合は申込みが登録されていない可能性があるため早急に学会事務局まで電話でご連絡ください。

●原稿の提出

講演論文集の原稿枚数はA4用紙2枚です。原稿はPDFで提出していただきます。原稿の執筆方法はホームページをご参照ください。

講演プログラムと連動して原稿の一部等を公開するサービスを実施しています。原稿提出時に、①公開しない、②原稿の最初1/4頁を公開、③原稿内の図表の1つを選択して公開、④400字以内の文章を別途公開、の4つのパターンから1つを選択していただきます。これらの内容は学会ホームページに掲載される講演会プログラムにリンクして表示されます。

公開日は2022年10月4日(火)の予定です。この公開により原稿の記載内容は公知となります。原稿内容について特許申請等をお考えの方はご承知おきください。

●特別原稿編集作業費

講演論文集原稿締切後に原稿を提出された方および原稿を再投稿された方には、特別原稿編集作業費20,500円を請求いたします。

また、9月21日(水)14時までに原稿が入手できなかった講演は取消とさせていただきます。更に20,500円を請求いたします。

9月14日(水)14時以降～9月21日(水)14時まで	20,500円
9月21日(水)14時以降	講演取消および20,500円

●参加登録

講演会に参加する方(講演者、連名者、聴講者)は参加登録が必要です。早期割引参加登録手続きは8月下旬にホームページにて公開予定です。

●優秀論文講演奨励賞の申込

35歳以下の若手発表者による優秀な講演発表に対して、優秀論文講演奨励賞を贈ります。35歳以下の会員で審査を希望される方は、講演申込時に優秀論文講演奨励賞の審査の希望を選択して、年齢も必ず選択してください。申請がない場合は、審査対象外とさせていただきます。なお、過去に本賞の受賞歴のある方は、受賞した講演会后2年間は欠格期間となります。

表1 素材形態別分類

表2 加工法別分類

素材形態	加工法	
板 材 A	圧延	a
	鍛造	b
	転造	c
	押出し	d
	引抜き	e
	ロール成形	f
	チューブフォーミング	g
	スピニング	h
	せん断	i
	曲げ	j
塊状物 B (線・棒・形材等)	板材成形	k
	矯正	l
	高エネルギー・高速加工	m
管 材 C	接合	n
	積層造形	o
	粉末成形	p
不定形材 D (粉末・溶湯・木材等)	射出成形	q
	半溶融・半凝固・溶湯	r
	インクリメンタルフォーミング	s
	サーボ応用加工	t
	マイクロフォーミング	u
	超音波応用加工	v
	ドライ加工	w
	温・熱間プレス成形	x
	表面改質	y
	その他	z

表3 要素技術別分類

材料試験	1	
塑性理論	2	
解析技術	基礎理論, 解析モデル	3
	数値シミュレーション	4
	実験シミュレーション	5
材 料	鉄鋼材料	6
	非鉄金属材料	7
	複合材料・CFRP	8
	超塑性材料	9
	プラスチック	10
	粉末材料	11
	セラミック	12
	ポーラス	13
	木材	14
	新素材・その他	15
加工特性	変形特性・負荷特性	16
	加工限界	17
	加工精度	18
	材質改善	19
	その他	20
工具, 金型	金型設計, CAD/CAM	21
	工具材料, 表面処理	22
	その他	23
加工・生産システム	計測, 制御	24
	加工機械, 生産システム	25
	知能化技術(AI, エキスパート)	26
	その他	27
トライボロジー	28	
環境・省エネルギー	29	
その他	30	